

平成29年度 平塚盲学校 不祥事ゼロプログラム実施状況

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
「法令遵守意識の向上」(公務外非行の防止、職員行動指針の周知徹底を含む)	常に教育公務員としての自覚を持ち、法令遵守することにより公務外非行の発生を未然に防止する。	事故防止会議や啓発資料を通して、職場を離れた時にも教育公務員としての自覚と誇りを持って行動し、職場全体としての意識を高めるように努め、公務外非行の発生を防ぐことができた。
「わいせつ・セクハラ行為の防止」	相手の心身を思いやり、人権を尊重した適切な指導を行い、わいせつ・セクハラ行為を防止する。	事故防止会議や啓発資料または実例を通して人権やセクハラについての知識を深め、防止に対する意識を向上させることができた。指導場面では極力複数での対応をするように努めた。
「体罰、不適切な指導の防止」	幼児児童生徒の立場に立った、人権を尊重した丁寧な指導を徹底し、体罰や不適切な指導を防止する。	全職員で幼児児童生徒に対する丁寧な対応を心がけ、チームで指導方針や方法を共有する中で、人権を尊重した指導に対する意識を高めることができた。
「成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止」	成績処理や進路関係書類に係る事務処理を適切に行い、事故防止に努める。	定期試験や模擬試験における試験問題作成から成績処理までの業務において、ヒヤリハット事例につながる事例も数件発生しており、今後もチェック体制を再確認していく必要があると思われる。
「個人情報等管理・情報セキュリティ対策(パスワードの設定、誤廃棄防止)」	記録メディアや文書の管理を徹底し、個人情報の紛失・流失や誤配付・誤送信を未然に防止する。	事故防止会議等で個人情報や記録媒体の適正な管理にむけ、具体的なヒヤリハット事例や啓発資料などを確認したり、発生原因等を検討したりすることで事故発生を防ぐことができた。
「交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守」	法令遵守を徹底し、交通事故や交通違反の発生を未然に防止する。	事故防止会議等で具体的な事例や啓発資料をもとに交通事故や交通違反に対する意識を高めることにより重大な交通事故や違反は発生しなかったが、軽微な違反や事故が数件あり今後も安全運転についての意識をさらに高める必要がある。
「業務執行体制の確保等(情報共有、相互チェック体制、業務協力体制)」	業務の効率化や調整を図り、職員間で協力体制をつくりあげ、事故や不祥事を未然に防止する。	特に個人情報を含む文書の作成から配付については、複数でのチェック体制をとることを原則とし、「～するつもりだった。」とか「細心の注意を払うことについての共通理解を図った。今後も職員間の報告・連絡・相談の徹底を図っていき、事故を未然に防止する。
「会計事務等の適正執行」	公費及び私費会計基準に則り、適正な処理を行う。	公費および私費についての会計基準にもとづいた会計処理を行い、適切に予算執行および会計処理ができていた。今後も定期的に点検を実施し、事故防止に向けた取り組みを継続していく。
「入学者選抜に係る事故防止」	入学者選抜における試験問題作成・管理および採点業務等を適正に実施する。	入学者選抜での事故防止にむけ、過去に発生した具体例を事故防止会議等で確認したり、部内でチェック体制等の対応策を考えたりすることで事故を未然に防止することができた。

○ 平成29年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成30年度に取り組むべき課題

今年度も全職員が一丸となって「平塚盲学校からは不祥事による懲戒処分者は出さない」ことを強く意識しながら、事故不祥事防止に取り組むことができた。

来年度以降も、今年度の気持ちを忘れずに、「同僚性」を高めていくことを大きなキーワードとして、教職員同士で話し合い・支えあい・助け合う職場作りを目指すことで事故や不祥事防止につなげていきたい。